2021年度一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会
定時社員総会議題

日　　時：2021年6月12日（土）13時30分～15時30分
開催形式：WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン開催
議　　場：日本体育・スポーツ・健康学会事務局

議事に先立って
１．定足数の確認
２．会長挨拶
３．議長の選出
４．議事録署名人の選出

審議事項
１．2020年度事業報告について　（資料1, p. 2）
２．2020年度収支決算について
　（１）決算報告について　（資料2-1, p. 8）
　（２）監査報告について　（資料2-2, p. 19）
３．2021・2022年度理事並びに監事について　（資料3, p. 20）
４．第71回大会以降の主管校について　（資料4, p. 21）
５．「体育学研究」投稿規程の改正について　（資料5, p. 22）

報告事項
１．第71回大会（筑波大学）の準備状況について　（資料6, p. 24）
２．第72回大会（順天堂大学）の準備状況について　（資料7, p. 27）
３．2021年度諸会議日程について　（資料8, p. 28）
４．その他

2020 年度事業報告（案）

1. 常設委員会の活動

(1)理事会・総会

1）2020 年度理事会、総会等を下記の日程で開催した。

理　事　会：2020 年 4 月 18 日（土）、5 月 30 日（土）、8 月 22 日（土）、
10 月 17 日（土）、12 月 12 日（土）、2021 年 3 月 6 日（土）

定時社員総会：2020 年 6 月 27 日（土）

臨時社員総会：2020 年 10 月 17 日（土）

(2)運営委員会

1) 新型コロナウイルス感染状況を鑑み、2020 年度の定時社員総会並びに臨時社員総会については、WEB 会議ツール「Zoom」を使用したオンライン形式にて開催した。
2) 学会大会の改善案について定時社員総会において承認を受け、学会大会の開催に関する規程の改定を行った。
3) 応用（領域横断）研究部会の設置について定時社員総会において承認を受け、第 71 回大会におけるシンポジウム並びに学会大会の開催に向けた企画の検討を進めた。
4) 「体育・スポーツ政策」専門領域の新設について定時社員総会で提案し、承認を受けた。また、その後、体育・スポーツ政策専門領域新設に伴う対応を進めた。
5) 2020 年度事業より、体育学研究冊子体の廃止に伴い、会員に対して掲載論文タイトルを配信することとした。
6) 在宅勤務システムを整備した。
7) 2020 Yokohama Sport Conference に関し、toto の助成金を受け、報告書を作成した。
8) 会員に対して、2020 Yokohama Sport Conference 参加費免除措置を導入した。
9) 2021 年度体育学研究編集委託費の見直しについて検討した。
10) 第 71 回大会をオンライン開催とし、参加費を値下げすることを決定した。

(3)庶務委員会

1) 2020 年度事業計画の実行を諸委員会と連携を図りながら進めた。
2) 2019 年度事業報告を作成した（定時社員総会承認）。
3) 2021 年度事業計画（案）を作成した（臨時社員総会承認）。
4) 2021 年 4 月 1 日付け名誉会員について検討した（臨時社員総会承認）。
5) 2021・2022 年度代議員選挙（Web 選挙システム）並びに役員選挙を実施した。
6) 2021 年 4 月 1 日付けの学会名称の変更に伴う規程中の名称変更並びに給与規程の改定を行った
7) 協力学会助成金の配分方式を検討し、助成金の申請を受け付けた。
8) 体育・スポーツ政策専門領域新設に伴い、専門領域の補助金の配分方法、体育・スポーツ政策専門領域の権限並びに委員について検討した。また、体育・スポーツ政策専門領域新設に伴う必要書類の提出を依頼した。
9) 2020 年度学会賞等の選考を「学会賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会

時に授与)。

10) 2020 年度浅田学術奨励賞の選考を「浅田学術奨励賞選考委員会」において実施した（臨時社員総会時に授与)。

11) 学会賞・浅田学術奨励賞受賞論文の IJSHS への二次出版について、2020 年度の対象論文を選定した。

12) 2020 年度からの「体育学研究」誌の冊子体廃止に伴う対応について検討し、郵送物の送付は本年度のみとすることとした。

13) 常勤職にない若手会員に対する年度会費減免措置（申し合わせ)に基づき、36 件の申請のうち 34 件について許諾した。

14) 自然災害等の被災会員に対する年度会費免除措置（申し合わせ)に基づき、2020 年度は 3 件の免除措置を行った。

15) 2021 年度の休会申請 6 件に対する 3 件の許諾案を作成し、理事会の承認を得た。

16) 2025 年以降の学会大会主管校公募制導入に向け、公募要項を作成した。なお 、2022 年は順天堂大学、2023 年は同志社大学、2024 年は福岡大学に内諾を得、理事会で承認を得た。2021 年総会で承認を得ることとした。

17) 会員数（2021 年 3 月 31 日現在)
正会員：5,796 名（2020 年 3 月 31 日、6,028 名)、賛助会員：5 名、名誉会員：180 名、顧問会員：1 名、購読会員：66 名

(4)会計委員会

1) 2019 年度収支決算書を作成した（定時社員総会承認)。
2) 地域及び専門領域への補助金の配分を行った。
3) 2020 年度補正予算を作成した（臨時社員総会承認)。
4) 2021 年度予算書を作成した（臨時社員総会承認)。
5) 日本教育シューズ学校体育振興基金に補助金申請を行い、補助を受けた。

(5)「体育学研究」編集委員会

1) 「体育学研究」第 65 巻に投稿論文 66 編、二次出版論文 1 編、その他 3 編をオンラインジャーナルとして J-Stage に掲載した。なお 2020 年の投稿数は 165 編であった。
2) 「体育学研究」投稿規程、手引き等の一部を改正し、公開した。
3) IJSHS への二次出版投稿申請を 6 件受け付けた。

(6)「IJSHS」編集委員会

1) 「International Journal of Sport and Health Science」第 18 巻をオンラインジャーナルとして J-Stage に掲載した。
2) 第 18 巻に「体育学研究」からの二次出版論文 3 篇を掲載した（授賞論文は除く)。
3) 年間投稿数は 57 篇、掲載数は 25 篇であった。

(7)学会大会委員会

1) 第 71 回大会以降の学会大会の運営について、主管校と学会事務局との業務分担を検討した。
2) 第 71 回大会（於：筑波大学、2021 年 9 月 7-9 日）を筑波大学と連携を図りながら準備した。
3) 第 72 回大会を順天堂大学で開催することを決定した。
4) 第 71 回大会以降の学会大会の運営方法について検討した。
5) 「学会大会開催の手引き」改定の検討を行った。

(8)国際交流委員会

1) 国際交流協定に基づき、中国体育科学学会、韓国体育学会、台湾体育学会、ドイツスポーツ科学学会、インド体育学会に、今年度の学会大会が開催されないこと、及び 2020 横浜スポーツ学術会議への参加を呼び掛ける旨の案内を送付した。
2) 新型コロナ禍の影響により、2020 年 9 月 5-6 日に日本体育大学世田谷キャンパスでの開催する予定であった第 11 回日独スポーツ科学会議を中止することとした。
3) 提携学会のインド体育学会との協定延長につき、協定書の文言に、”Should either society wish to terminate this Agreement, written notice should be given three months in advance of the desired termination date.”を加えることにより、5 年間の協定期間中の途中でも協定の破棄を可能とすることとした。なお、協定延長は、2020 年 10 月 16 日から 5 年間となる。
4) インド体育学会から招待講演（オンライン）の依頼への対応について、国際交流委員会で検討した結果、回答期限が短いなどの理由から、インド体育学会に断りの連絡を行った。
5) 英語版大会 Web サイト及び演題・参加登録サイトを作成した。
6) 国際交流に関わる情報を収集し、学会ホームページを通して会員に随時通知した。
7) 海外からの問い合わせに随時回答を行った。

(9)企画委員会

1) 第 71 回学会大会の大会テーマを提案した。
2) 第 71 回学会大会における本部企画（シンポジウム）を他の委員会と協力してまとめた

[企画委員会：応用（領域横断）研究部会]

1) 第 71 回学会大会におけるテーマ別シンポジウム及びテーマ別研究発表について企画案を検討し、成案を取りまとめた

(10)広報委員会

1) ホームページ(以下、HP）の充実と活性化について検討を重ねると共に、他委員会との連携、他機関とのリンク等を進めた。
2) 各種情報の収集（教員公募・学会開催・コラム等）と HP 上での周知を行った。
3) HP における「日本体育学会 若手の会」ページに連載しているコラムリレー（Vo.1～Vol.44,2021.3.29 現在）を掲載した。

4) HPのお知らせにおいて、「ICSSPEニュースレター（毎月配信)」を掲載した。
5) Facebookにおける情報の更新を行い、HPに掲載した情報発信の迅速化を図った。

(11)研究倫理委員会
1) 研究倫理運用規程を作成した。

(12)政策検討・諮問委員会
1) 「2017-2018年度政策課題化検討分科会」報告書を、J-Stageにて公開を行った(2020年8月17日)。

(13)学術連合連携委員会
1) 2020横浜スポーツ学術会議オンライン開催に協力した。
2) 日本スポーツ体育健康科学学術連合の運営に協力した。

(14)男女共同参画委員会
1) コロナ禍における働き方についての課題等についてweb調査の実施を検討した。
2) 男女共同参画に関するシンポジウム等をオンラインで実施することを検討した。

(15)若手研究者委員会
1) 若手研究者および大学院生向けの「入会に関するQ&A」の更新案を作成し、学会ホームページにて公開した。
2) 「日本体育学会若手の会」メーリングリスト（ML）を運用し（2021年2月現在ML登録471名）、月に1、2回程度のコラム（若手会員の研究紹介）や学会・セミナー等の案内を配信した。
3) 2020 Yokohama Sport Conferenceにおいてシンポジウム「Early career network: why did you choose to study in the country?」の企画に協力した。
4) 第1回日本体育学会若手の会セミナー「グローバルキャリアネットワークの構築～なぜその道を選んだの？～」（オンライン開催、2020年11月13日）を企画、運営、開催した。また本セミナーの報告書を学会ホームページにて公開した。

2. 特別委員会の活動

(1)国際会議準備特別委員会
1) 2020 Yokohama Sport Conference （以下、国際会議）組織委員会と本学会との間の連携、連絡に携わり、国際会議の準備と実施を支援した。国際会議は9月8日（火）から22日（火）にかけてオンライン上で開催された（当初は9月8日から12日にかけてパシフィコ横浜を会場として開催される予定であったが、世界的な新型コロナウイルス感染の影響を鑑み変更された)。参加登録者数は一般966名、本学会会員957名、招聘者101名、ICSSPE関係者11名、プレス関係者2名、計2,037名であった。プログラムとしては基調講演1題、特別セッション1題、公開講座2題、テーマ別講演21題、シンポジウム22題、公募シンポジウム15題、一般発表1,058題が

行われた。本会議専用ページには会期中に延べ 8,388 人から 12,333 件のアクセスがあった。多様な分野･テーマにおける国際的な議論を通じ、スポーツ･体育･身体活動の現状と課題に関する 10 項目が国際会議の成果として示された。

(2)指導者資格特別委員会

1) 定時社員総会（オンライン形式、6 月 27 日開催）において、2020 年度コーチデベロッパー養成講習会の情報を伝えた。公益財団法人日本スポーツ協会スポーツ指導者育成部 活動推進課・栗原洋和氏より、①コーチデベロッパー養成については 2020 年度は休止すること、②公認スポーツ指導者資格の更新時に義務付けている研修について WEB での対応を検討中であること、③講習免除適応コースの新制度への移行受付を開始したことおよび新規申請希望校への説明会開催予定であること、等の説明をしていただいた。

(3) 研究組織（専門領域）検討特別委員会

1) 専門領域間の連携・協働による研究成果の交流と統合化を狙いとする新たな研究組織として、「応用（領域横断）研究部会」の成案を取りまとめた。定時総会にて承認された後、編成された 5 つの研究部会に本委員会委員が参画して各研究部会の活動推進に努めた。

3. 2020 Yokohama Sport Conference について

2020 Yokohama Sport Conference（2020 年 9 月 8-22 日）を日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会、日本スポーツ体育健康科学学術連合及びその他の参画団体とともにオンライン開催に協力した。本学会からの参加登録数は、957 名であった。

事業報告の附属明細書（案）

1. 学会賞・学会奨励賞・浅田学術奨励賞の選考・授与

学会賞候補として 25 編、学会奨励賞候補として 21 編の推薦があり、学会賞選考委員会(藤井範久委員長）において審査の結果、下記の通りそれぞれを候補とし、2020 年 8 月 22 日開催の理事会において決定し、10 月 17 日の臨時社員総会で授与した。

学会賞

内山　治樹　　チームスポーツにおける協働行為の指針の探求
「体育学研究」第64巻2号　731-747頁

学会奨励賞

前田　奎 他　　円盤投における高い初速度獲得のための動作要因間の因果関係
「体育学研究」第64巻1号　21-36頁

浅田学術奨励賞候補の推薦があり、浅田学術奨励賞選考委員会(岩田　靖委員長)にお

いて審査の結果、下記の論文を候補として、2020 年 8 月 22 日開催の理事会において決定し、10 月 17 日の臨時社員総会で授与した。

体育哲学

該当なし

体育科教育学

鈴木　康介 他　　小学5・6年生における走ることが苦手な児童に対する短距離走の指導効果の検討
「体育学研究」第64巻第1号　265-284頁

収　支　計　算　書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

（単位：円）

大　科　目	中　科　目	小　科　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備考
Ⅰ　事業活動収支の部						
1．事業活動収入						
① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	基本財産利息収入	1,500	1,698	△ 198	
② 特定資産運用収入	特定資産利息収入	特定資産利息収入	1,000	1,020	△ 20	
③ 入会金収入	入会金収入	入会金収入	360,000	145,000	215,000	注１
④ 会費収入	１正会員会費収入	正会員会費収入計	58,000,000	55,780,000	2,220,000	注２
	２賛助会員会費収入	賛助会員会費収入	140,000	100,000	40,000	注３
	会　費　収　入　計		58,140,000	55,880,000	2,260,000	
⑤ 事業収入	１学会大会収入	(1)大会参加費収入	0	0	0	
		(2)大会号売上収入	0	0	0	
		(3)広告・協賛金収入	0	0	0	
		(4)その他収入	0	0	0	
		学会大会収入　計	0	0	0	
	２その他事業収入	(1)著者負担金収入	330,000	209,754	120,246	
		(2)「科学事典」・機関誌等売上収入	200,000	59,500	140,500	
		(3)購読会員会費収入	1,000,000	900,000	100,000	
		(4)その他収入	300,000	444,244	△ 144,244	注４
		その他事業収入　計	1,830,000	1,613,498	216,502	
	事　業　収　入　計		1,830,000	1,613,498	216,502	
⑥ 補助金等収入	民間助成金収入	(1)日本教育シューズ学校体育振興助成金収入	200,000	200,000	0	
		(2)学会大会助成金収入	0	0	0	
		民間助成金収入　計	200,000	200,000	0	
	補　助　金　等　収　入　計		200,000	200,000	0	
⑦ 雑収入	１受取利息収入	受取利息収入	100	426	△ 326	
	２移転補償料収入		0	76,778	△ 76,778	
	３雑収入	雑収入	0	34,800	△ 34,800	注５
	雑　収　入　計		100	112,004	△ 111,904	
事業活動収入　計			60,532,600	57,953,220	2,579,380	
2．事業活動支出						
① 事業費支出	1　学会大会費支出	(1)消耗品費支出	0	0	0	
		(2)委託費支出	970,000	0	970,000	
		学会大会費支出　計	970,000	0	970,000	
	2　学会誌刊行費支出	(1)幹事手当支出	160,000	160,000	0	
		(2)会議費支出	80,000	0	80,000	
		(3)旅費交通費支出	700,000	0	700,000	
		(4)通信運搬費支出	300,000	94,061	205,939	注６
		(5)印刷製本費支出	1,440,000	1,433,300	6,700	注７
		(6)委託費支出	5,520,000	5,517,992	2,008	注８
		学会誌刊行費支出　計	8,200,000	7,205,353	994,647	
	3　国際誌刊行費支出	(1)幹事手当支出	80,000	80,000	0	
		(2)臨時雇賃金支出	1,380,000	1,371,350	8,650	
		(3)会議費支出	20,000	0	20,000	
		(4)旅費交通費支出	400,000	0	400,000	
		(5)委託費支出	1,500,000	1,151,290	348,710	注９
		国際誌刊行費支出　計	3,380,000	2,602,640	777,360	
	4　国際交流費支出	(1)幹事手当支出	160,000	160,000	0	
		(2)旅費交通費支出	200,000	0	200,000	
		(3)通信運搬費支出	20,000	0	20,000	
		(4)消耗品費支出	100,000	0	100,000	
		(5)諸会費支出	70,000	66,913	3,087	
		(6)委託費支出	300,000	0	300,000	
		(7)雑支出	30,000	0	30,000	
		国際交流費支出　計	880,000	226,913	653,087	

大　科　目	中　科　目	小　科　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備考
① 事業費支出	5 地域等活動補助費支出	(1)専門領域補助金支出	1,750,000	1,750,000	0	
		(2)地域協力学会補助金支出	2,133,000	2,133,000	0	
		地域等活動補助費支出　計	3,883,000	3,883,000	0	
	6 特別委員会費支出	(1)幹事手当支出	50,000	32,000	18,000	
		(2)臨時雇賃金支出	50,000	0	50,000	
		(3)会議費支出	50,000	0	50,000	
		(4)旅費交通費支出	50,000	0	50,000	
		(5)諸謝金支出	50,000	0	50,000	
		特別委員会費支出　計	250,000	32,000	218,000	
	7 常設委員会費支出	(1)幹事手当支出	160,000	160,000	0	
		(2)会議費支出	112,000	0	112,000	
		(3)旅費交通費支出	466,000	0	466,000	
		(4)印刷製本費支出	330,000	39,500	290,500	
		(5)諸謝金支出	30,000	22,274	7,726	
		(6)委託費支出	470,000	462,000	8,000	
		(7)雑支出	10,000	0	10,000	
		常設委員会費支出　計	1,578,000	683,774	894,226	
	8 学会賞基金事業費支出	(1)学会賞支出	250,000	250,000	0	
		(2)通信運搬費支出	1,800	1,540	260	
		学会賞基金事業費支出　計	251,800	251,540	260	
	9 浅田基金事業費支出	(1)学術奨励賞支出	200,000	100,000	100,000	
		(2)通信運搬費支出	1,800	770	1,030	
		浅田基金事業費支出　計	201,800	100,770	101,030	
	10 事業共通費支出	(1)給料手当支出	8,600,000	8,555,001	44,999	
		(2)臨時雇賃金支出	200,000	0	200,000	
		(3)退職給付費用支出	880,000	576,000	304,000	
		(4)福利厚生費支出	1,600,000	1,288,265	311,735	
		(5)会議費支出	40,000	0	40,000	
		(6)旅費交通費支出	40,000	0	40,000	
		(7)通信運搬費支出	1,000,000	661,738	338,262	
		(8)消耗品費支出	800,000	272,969	527,031	
		(9)印刷製本費支出	360,000	359,734	266	
		(10)賃借料支出	480,000	171,072	308,928	
		(11)事務所使用料支出	3,600,000	3,469,554	130,446	
		(12)諸謝金支出	420,000	413,920	6,080	
		(13)租税公課支出	400,000	44,880	355,120	
		(14)諸会費支出	130,000	122,000	8,000	
		(15)委託費支出	900,000	580,612	319,388	
		(16)雑支出	40,000	6,848	33,152	
		事業共通費支出　計	19,490,000	16,522,593	2,967,407	
	事　業　費　支　出　計		39,084,600	31,508,583	7,576,017	
② 管理費支出	1 常設委員会費支出	(1)幹事手当支出	80,000	80,000	0	
		(2)会議費支出	470,000	22,118	447,882	
		(3)旅費交通費支出	3,400,000	56,216	3,343,784	
		(4)消耗品費支出	0	0	0	
		(5)印刷製本費支出	50,000	0	50,000	
		常設委員会費支出　計	4,000,000	158,334	3,841,666	
	2 その他管理費支出	(1)給料手当支出	2,150,000	2,138,750	11,250	
		(2)臨時雇賃金支出	50,000	0	50,000	
		(3)退職給付費用支出	220,000	144,000	76,000	
		(4)福利厚生費支出	400,000	322,066	77,934	
		(5)会議費支出	10,000	0	10,000	
		(6)旅費交通費支出	10,000	0	10,000	
		(7)通信運搬費支出	1,410,000	661,738	748,262	
		(8)消耗品費支出	200,000	68,242	131,758	
		(9)印刷製本費支出	220,000	89,934	130,066	
		(10)賃借料支出	120,000	42,768	77,232	
		(11)事務所使用料支出	900,000	867,389	32,611	
		(12)諸謝金支出	1,200,000	1,148,480	51,520	
		(13)会費等入金手数料支出	1,400,000	874,794	525,206	
		(14)租税公課支出	20,000	11,220	8,780	
		(15)委託費支出	2,170,000	2,135,881	34,119	
		(16)雑支出	10,000	1,712	8,288	
		その他管理費支出　計	10,490,000	8,506,974	1,983,026	
	管　理　費　支　出　計		14,490,000	8,665,308	5,824,692	

大　科　目	中　科　目	小　科　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備考
事業活動支出　計			53,574,600	40,173,891	13,400,709	
事業活動収支差額			6,958,000	17,779,329	△ 10,821,329	
Ⅱ　投資活動収支の部						
1．投資活動収入						
①特定資産取崩収入	特定資産取崩収入	(1)学会賞引当特定資産取崩収入	252,000	250,000	2,000	
		(2)浅田基金引当特定資産取崩収入	200,100	100,000	100,100	
	特定資産取崩収入　計		452,100	350,000	102,100	
投資活動収入　計			452,100	350,000	102,100	
2．投資活動支出						
① 特定資産取得支出	特定資産取得支出	(1)国際交流引当特定資産取得支出	500	433	67	
		(2)学会賞引当特定資産取得支出	200	228	△ 28	
		(3)浅田基金引当特定資産取得支出	100	181	△ 81	
		(4)システム改修準備金積立資産取得支出	2,000,000	2,000,178	△ 178	
	特定資産取得支出　計		2,000,800	2,001,020	△ 220	
投資活動支出　計			2,000,800	2,001,020	△ 220	
投資活動収支差額			△ 1,548,700	△ 1,651,020	102,320	
Ⅲ　財務活動収支の部						
1．財務活動収入						
財務活動収入　計			0	0	0	
2．財務活動支出						
財務活動支出　計			0	0	0	
財務活動収支差額			0	0	0	
Ⅳ　予備費支出			(1,700,000) 1,300,000	 0	 1,300,000	注10
税引前当期収支差額			4,109,300	16,128,309	△ 12,019,009	
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0	
当期収支差額			4,039,300	16,058,309	△ 12,019,009	
前期繰越収支差額			32,453,537	32,453,537	0	
次期繰越収支差額			36,492,837	48,511,846	△ 12,019,009	

注１　1,000円*145名

注２　本年度会費　10,000円＊5,446名　　過年度会費　1,320,000円

注３　20,000円＊5口

注４　著作権使用料　293,244　　刊行物売上等　151,000

注５　前年度の理事会・会議中止による室料等返金

注６　第65巻　購読会員等への発送費用

注７　第65巻　200部作成

注８　J-STAGE搭載費　220,440　編集委託費　2,659,800　文献等照合費　378,660　　査読費　160,000　　英文校正費　196,092
発送委託費　5,500　　編集業務委託費　1,897,500

注９　J-STAGE搭載費　800,800　　査読費　150,000　　翻訳プルーフ費　200,490

注10　予備費使用額　学会誌刊行費支出－印刷製本費支出440,000　学会誌刊行費支出－委託費支出520,000　国際誌刊行費支出－臨時雇賃金支出180,000
国際交流費支出-諸会費支出40,000円　常設委員会費支出-諸謝金支出10,000　常設委員会費支出-委託費支出470,000円
事業共通費支出-諸謝金支出20,000円　事業共通費支出－諸会費支出10,000　その他管理費支出-租税公課支出10,000円

収支計算書に対する注記

1　資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、立替金、前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記２に記載するとおりである。

2　次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　　目	前　期　末　残　高	当　期　末　残　高
現　金　・　預　金	33,112,147	48,414,705
前　　払　　金	0	1,039,861
立　　替　　金	16,500	0
合　　計	33,128,647	49,454,566
前　　受　　金	160,000	590,000
預　　り　　金	515,110	352,720
合　　計	675,110	942,720
次期繰越収支差額	32,453,537	48,511,846

3　各委員会ごとの支出内訳

事業費支出

特別委員会費支出	国際会議準備	指導者資格	研究組織検討	合　　計
幹事手当支出			32,000	32,000
臨時雇賃金支出				0
会議費支出				
旅費交通費支出				0
諸謝金支出				0
特別委員会費支出　計	0	0	32,000	32,000

常設委員会費支出	政策検討・諮問	学会大会	広報	研究倫理	男女共同	若手研究者	合　　計
幹事手当支出	80,000		80,000				160,000
会議費支出							0
旅費交通費支出							0
印刷製本費支出	39,500						39,500
諸謝金支出						22,274	22,274
委託費支出			462,000				462,000
常設委員会費支出　計	119,500	0	542,000	0	0	22,274	683,774

管理費支出

常設委員会費支出	庶務・会計	総　　会	理事会	合　　計
幹事手当支出	80,000			80,000
会議費支出		5,616	16,502	22,118
旅費交通費支出		21,450	34,766	56,216
消耗品費支出				0
印刷製本費支出				0
常設委員会費支出　計	80,000	27,066	51,268	158,334

一般社団法人　日本体育学会

貸　借　対　照　表

令和３年３月３１日現在

（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金預金	48,414,705	33,112,147	15,302,558
前払金	1,039,861	0	1,039,861
立替金	0	16,500	△ 16,500
流動資産合計	49,454,566	33,128,647	16,325,919
２　固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
国際交流引当特定資産	5,171,459	5,171,026	433
学会賞基金引当特定資産	4,259,720	4,509,492	△ 249,772
浅田基金引当特定資産	3,100,181	3,200,000	△ 99,819
システム改修準備金積立資産	4,000,178	2,000,000	2,000,178
特定資産合計	16,531,538	14,880,518	1,651,020
(3)その他の固定資産			
什器備品	3,618,614	4,168,511	△ 549,897
ソフトウエア	492,480	1,998,378	△ 1,505,898
差入保証金	972,000	972,000	0
その他の固定資産合計	5,083,094	7,138,889	△ 2,055,795
固定資産合計	41,614,632	42,019,407	△ 404,775
資産合計	91,069,198	75,148,054	15,921,144
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
前受金	590,000	160,000	430,000
預り金	352,720	515,110	△ 162,390
流動負債合計	942,720	675,110	267,610
２　固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	942,720	675,110	267,610
Ⅲ　正味財産の部			
１　指定正味財産			
寄付金	7,100,000	7,200,000	△ 100,000
指定正味財産合計	7,100,000	7,200,000	△ 100,000
（うち特定資産への充当額）	(7,100,000)	(7,200,000)	(△ 100,000)
２　一般正味財産	83,026,478	67,272,944	15,753,534
（うち基本財産への充当額）	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(9,431,538)	(7,680,518)	(1,751,020)
正味財産合計	90,126,478	74,472,944	15,653,534
負債及び正味財産合計	91,069,198	75,148,054	15,921,144

正　味　財　産　増　減　計　算　書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで　　（単位：円）

大　科　目	中　科　目	小　科　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
1．経常増減の部					
(1)　経常収益					
① 基本財産運用益	基本財産受取利息	基本財産受取利息	1,698	1,694	4
② 特定資産運用益	特定資産受取利息	特定資産受取利息	1,020	1,048	△ 28
③ 受取入会金	受取入会金	受取入会金	145,000	360,000	△ 215,000
④ 受取会費	１正会員受取会費	(1)本年度受取会費	54,460,000	57,140,000	△ 2,680,000
		(2)過年度受取会費	1,320,000	900,000	420,000
		正会員受取会費計	55,780,000	58,040,000	△ 2,260,000
	２賛助会員受取会費	賛助会員受取会費	100,000	140,000	△ 40,000
	受　取　会　費　計		55,880,000	58,180,000	△ 2,300,000
⑤ 事業収益	１学会大会収益	(1)大会参加費収益	0	17,216,000	△ 17,216,000
		(2)大会号売上	0	1,150,000	△ 1,150,000
		(3)受取広告・協賛金	0	8,194,276	△ 8,194,276
		(4)そ　の　他	0	1,406,032	△ 1,406,032
		学会大会収益　計	0	27,966,308	△ 27,966,308
	２その他事業収益	(1)受取著者負担金	209,754	368,837	△ 159,083
		(2)「科学事典」・機関紙等売上	59,500	532,000	△ 472,500
		(3)購読会員会費収益	900,000	983,500	△ 83,500
		(4)そ　の　他	444,244	496,053	△ 51,809
		その他事業収益　計	1,613,498	2,380,390	△ 766,892
	事　業　収　益　計		1,613,498	30,346,698	△ 28,733,200
⑥ 受取補助金等	受取民間助成金	日本教育シューズ学校体育振興助成金	200,000	200,000	0
		学会大会補助金	0	0	0
	受　取　補　助　金　等　計		200,000	200,000	0
⑦ 受取寄付金	受取寄付金	(1)受取寄付金	0	291,932	△ 291,932
		(2)受取寄付金振替額	100,000	200,000	△ 100,000
	受　取　寄　付　金　計		100,000	491,932	△ 391,932
⑧ 雑　収　益	１受　取　利　息	受　取　利　息	426	375	51
	２受取移転補償料	受取移転補償料	76,778	0	76,778
	３雑　収　益	雑　収　益	34,800	160,000	△ 125,200
	雑　収　益　計		112,004	160,375	△ 48,371
経　常　収　益　計			58,053,220	89,741,747	△ 31,688,527
(2)　経常費用					
① 事業費	１　学会大会費	(1)臨時雇賃金	0	2,525,000	△ 2,525,000
		(2)会議費	0	1,155,928	△ 1,155,928
		(3)旅費交通費	0	606,827	△ 606,827
		(4)通信運搬費	0	1,850,485	△ 1,850,485
		(5)消耗品費	0	3,705,503	△ 3,705,503
		(6)印刷製本費	0	7,700,346	△ 7,700,346
		(7)賃借料	0	3,436,827	△ 3,436,827
		(8)諸謝金	0	194,899	△ 194,899
		(9)委託費	0	10,866,009	△ 10,866,009
		(10)雑費	0	123,442	△ 123,442
		学会大会費　計	0	32,165,266	△ 32,165,266
	２　学会誌刊行費	(1)幹事手当	160,000	160,000	0
		(2)会議費	0	10,800	△ 10,800
		(3)旅費交通費	0	638,094	△ 638,094
		(4)通信運搬費	94,061	1,735,649	△ 1,641,588
		(5)印刷製本費	1,433,300	5,623,180	△ 4,189,880
		(6)委託費	5,517,992	5,277,782	240,210
		学会誌刊行費　計	7,205,353	13,445,505	△ 6,240,152

大　科　目	中　科　目	小　科　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
① 事業費	3 国際誌刊行費	(1)幹事手当	80,000	80,000	0
		(2)臨時雇賃金	1,371,350	1,048,722	322,628
		(3)会議費	0	10,800	△ 10,800
		(4)旅費交通費	0	435,420	△ 435,420
		(5)委託費	1,151,290	1,521,420	△ 370,130
		国際誌刊行費　計	2,602,640	3,096,362	△ 493,722
	4 国際交流費	(1)幹事手当	160,000	160,000	0
		(2)会議費	0	281,059	△ 281,059
		(3)旅費交通費	0	1,051,397	△ 1,051,397
		(4)消耗品費	0	140,374	△ 140,374
		(5)諸謝金	0	124,436	△ 124,436
		(6)諸会費	66,913	33,941	32,972
		(7)委託費	0	112,860	△ 112,860
		(8)雑費	0	21,600	△ 21,600
		国際交流費　計	226,913	1,925,667	△ 1,698,754
	5 地域等活動補助費	(1)領域補助金	1,750,000	1,750,000	0
		(2)地域補助金	2,133,000	2,000,000	133,000
		地域等活動補助費　計	3,883,000	3,750,000	133,000
	6 特別委員会費	(1)幹事手当	32,000	0	32,000
		(2)会議費	0	7,344	△ 7,344
		特別委員会費　計	32,000	7,344	24,656
	7 常設委員会費	(1)幹事手当	160,000	160,000	0
		(2)会議費	0	47,119	△ 47,119
		(3)旅費交通費	0	232,071	△ 232,071
		(4)印刷製本費	39,500	9,612	29,888
		(5)諸謝金	22,274	0	22,274
		(6)委託費	462,000	457,100	4,900
		常設委員会費　計	683,774	905,902	△ 222,128
	8 学会賞基金事業費	(1)学会賞費	250,000	250,000	0
		(2)通信運搬費	1,540	1,760	△ 220
		学会賞基金事業費　計	251,540	251,760	△ 220
	9 浅田基金事業費	(1)学術奨励賞費	100,000	200,000	△ 100,000
		(2)通信運搬費	770	1,760	△ 990
		浅田基金事業費　計	100,770	201,760	△ 100,990
	10 事業共通費	(1)給料手当	8,555,001	8,592,082	△ 37,081
		(2)退職給付費用	576,000	576,000	0
		(3)福利厚生費	1,288,265	1,341,886	△ 53,621
		(4)会議費	0	4,904	△ 4,904
		(5)旅費交通費	0	19,391	△ 19,391
		(6)通信運搬費	661,738	641,411	20,327
		(7)減価償却費	439,918	367,442	72,476
		(8)消耗品費	272,969	2,304,324	△ 2,031,355
		(9)印刷製本費	359,734	180,469	179,265
		(10)賃借料	171,072	221,287	△ 50,215
		(11)事務所使用料	3,469,554	3,452,039	17,515
		(12)諸謝金	413,920	662,270	△ 248,350
		(13)租税公課	44,880	401,720	△ 356,840
		(14)諸会費	122,000	121,000	1,000
		(15)委託費	580,612	890,242	△ 309,630
		(16)雑費	6,848	17,414	△ 10,566
		事業共通費　計	16,962,511	19,793,881	△ 2,831,370
	事　業　費　計		31,948,501	75,543,447	△ 43,594,946

大　科　目	中　科　目	小　科　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
② 管理費	1　常設委員会費	(1)幹事手当	80,000	80,000	0
		(2)会議費	22,118	428,046	△ 405,928
		(3)旅費交通費	56,216	1,914,642	△ 1,858,426
		(4)消耗品費	0	299,200	△ 299,200
		(5)印刷製本費	0	37,991	△ 37,991
		常設委員会費　計	158,334	2,759,879	△ 2,601,545
	2　その他管理費	(1)給料手当	2,138,750	2,148,020	△ 9,270
		(2)退職給付費用	144,000	144,000	0
		(3)福利厚生費	322,066	335,471	△ 13,405
		(4)会議費	0	1,226	△ 1,226
		(5)旅費交通費	0	4,848	△ 4,848
		(6)通信運搬費	661,738	641,410	20,328
		(7)減価償却費	1,615,877	1,597,759	18,118
		(8)消耗品費	68,242	576,081	△ 507,839
		(9)印刷製本費	89,934	45,117	44,817
		(10)賃借料	42,768	55,322	△ 12,554
		(11)事務所使用料	867,389	863,010	4,379
		(12)諸謝金	1,148,480	1,131,910	16,570
		(13)会費等入金手数料	874,794	949,892	△ 75,098
		(14)租税公課	11,220	2,180	9,040
		(15)委託費	2,135,881	1,384,090	751,791
		(16)雑費	1,712	4,354	△ 2,642
		その他管理費　計	10,122,851	9,884,690	238,161
	管　理　費　計		10,281,185	12,644,569	△ 2,363,384
経　常　費　用　計			42,229,686	88,188,016	△ 45,958,330
評価損益等調整前当期経常増減額			15,823,534	1,553,731	14,269,803
基本財産評価損益等			0	0	0
特定資産評価損益等			0	0	0
評価損益等計			0	0	0
当期経常増減額			15,823,534	1,553,731	14,269,803
2　経常外増減の部					
(1)　経常外収益					
①前期損益修正益	前期損益修正益	前期損益修正益	0	0	0
経　常　外　収　益　計			0	0	0
(2)　経常外費用					
①固定資産除却損	1　什器備品除却損	什器備品除却損	0	1	△ 1
	2　電話加入権除却損	電話加入権除却損	0	74,984	△ 74,984
	固定資産除却損　計		0	74,985	△ 74,985
経　常　外　費　用　計			0	74,985	△ 74,985
当期経常外増減額			0	△ 74,985	74,985
税引前当期一般正味財産増減額			15,823,534	1,478,746	14,344,788
法人税、住民税及び事業税			70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額			15,753,534	1,408,746	14,344,788
一般正味財産期首残高			67,272,944	65,864,198	1,408,746
一般正味財産期末残高			83,026,478	67,272,944	15,753,534
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
①一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	一般正味財産への振替額	△ 100,000	△ 200,000	100,000
当期指定正味財産増減額			△ 100,000	△ 200,000	100,000
指定正味財産期首残高			7,200,000	7,400,000	△ 200,000
指定正味財産期末残高			7,100,000	7,200,000	△ 100,000
Ⅲ　正味財産期末残高			90,126,478	74,472,944	15,653,534

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券のうち満期保有目的の債券については、移動平均法による原価基準を採用している。

満期保有目的の債券以外の有価証券については、移動平均法による低価基準を採用している。

(2)固定資産の減価償却について

定額法による減価償却を実施している。

(3)引当金の計上基準について

中小企業退職共済に加入しており自社退職金制度はないため、退職給付引当金は計上していない。

(4)消費税等に関する会計処理方法

税込方式で行っている。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000			20,000,000
小　　計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,171,026	433		5,171,459
学会賞基金引当特定資産	4,509,492	228	250,000	4,259,720
浅田賞基金引当特定資産	3,200,000	181	100,000	3,100,181
システム改修準備金積立資産	2,000,000	2,000,178	0	4,000,178
小　　計	14,880,518	2,001,020	350,000	16,531,538
合　　計	34,880,518	2,001,020	350,000	36,531,538

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000		(20,000,000)	－
小　　計	20,000,000		(20,000,000)	－
特定資産				
国際交流引当特定資産	5,171,459		(5,171,459)	
学会賞基金引当特定資産	4,259,720	(4,000,000)	(259,720)	
浅田賞基金引当特定資産	3,100,181	(3,100,000)	(181)	
システム改修準備金積立資産	4,000,178		(4,000,178)	
小　　計	16,531,538	(7,100,000)	(9,431,538)	(0)
合　　計	36,531,538	(7,100,000)	(29,431,538)	(0)

4　担保に供している資産　　該当なし

5　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什　器　備　品	4,950,204	1,331,590	3,618,614
ソフトウエア	7,529,490	7,037,010	492,480
差入保証金	972,000	―	972,000
合　　計	13,451,694	8,368,600	5,083,094

6　債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高　　該当なし

7　保証債務等の偶発債務　　該当なし

8　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益　　該当なし

9　補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。　(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
民間助成金						
学校体育振興助成金	日本教育シューズ	0	200,000	200,000	0	―
合　　計		0	200,000	200,000	0	

10　指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	
目的使用による指定解除額	
受取寄付金(浅田基金)	100,000
合　　計	100,000

11　関連当事者との取引の内容　　該当なし

12　その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項　　該当なし

附　属　明　細　書

１．基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「２・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

２．引当金の明細

該当なし。

一般社団法人　日本体育学会

財　　産　　目　　録

令和３年３月３１日現在　　（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	取得価額	金額	
（流動資産）					
	現金	小口現金	－	0	
	預金	普通預金　三菱ＵＦＪ銀行渋谷支店	－	40,697,470	
		普通預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	102,979	
		振替貯金　東京貯金事務センター	－	6,614,170	
		定期預金　三菱ＵＦＪ銀行渋谷支店	－	1,000,086	
		（預金　計）		(48,414,705)	
	現金預金合計			48,414,705	
	前払金	第71回学会大会の費用前払い	〃	1,039,861	
流動資産合計					49,454,566
（固定資産）					
基本財産	預金	定期預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	20,000,000	
基本財産合計				20,000,000	
特定資産	国際交流引当特定資産	定期預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	3,680,000	
		普通預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	75,073	
		定期預金　三菱ＵＦＪ銀行渋谷支店	－	1,416,386	
		（国際交流引当特定資産　計）		(5,171,459)	
	学会賞基金引当特定資産	普通預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	4,259,720	
	浅田基金引当特定資産	定期預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	2,000,000	
		普通預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	1,100,181	
		（浅田基金引当特定資産　計）		(3,100,181)	
	システム改修準備金積立預金	定期預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	4,000,000	
		普通預金　三井住友信託銀行芝営業部	－	178	
		（システム改修準備金積立資産　計）		(4,000,178)	
特定資産合計				16,531,538	
その他の固定資産	什器備品	スライド式棚	1,445,592	1,268,026	
その他の固定資産	什器備品	パソコン８台	1,360,510	461,924	
		事務机・椅子４セット	918,732	805,884	
		収納棚・ロッカー５台	666,967	585,042	
		会議テーブル１台	119,212	104,569	
		ドアパネル	184,932	162,217	
		金庫	254,259	230,952	
		（什器備品　計）	(4,950,204)	(3,618,614)	
	ソフトウエア	会員管理システム	7,529,490	492,480	
	差入保証金	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREビル入居保証金	－	972,000	
その他の固定資産合計				5,083,094	
固定資産合計					41,614,632
資産合計					91,069,198
（流動負債）					
	前受金	次年度会費の前受け	－	150,000	
		71回学会大会協賛費前受け		440,000	
		（前受金　計）		(590,000)	
	預り金	地域会費の一時預り	－	271,000	
		源泉所得税・住民税	－	81,720	
		（預り金　計）		(352,720)	
流動負債合計					942,720
負債合計					942,720
正味財産					90,126,478

令和３年５月１０日

監　査　報　告

一般社団法人　日本体育・スポーツ・健康学会
（旧：一般社団法人　日本体育学会）
会長　深　代　千　之　殿

一般社団法人　日本体育・スポーツ・健康学会
（旧：一般社団法人　日本体育学会）

監　　事　　阿　江　美　恵　子　（印略）

監　　事　　松　野　敦　子　（印略）

監　　事　　來　田　享　子　（印略）

私たちは、令和２年４月１日から令和３年３月３１日までの事業年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査を行い、次のとおり報告します。

１．　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁書類を閲覧し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け､必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行状況について検討いたしました。

２．　監査の結果

（１）事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していると認めます。

（２）計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認めます。

（３）理事の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以 上

2021・2022年度一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会理事並びに監事

＜理　事＞

地域選出	専門領域選出
伊坂　忠夫（京都滋賀）	荒木　香織（体育心理学）
梅垣　明美（大阪和歌山）	金谷麻理子（体育方法）
岡出　美則（東京）	國土　将平（発育発達）
菊　　幸一（東京）	清水　紀宏（体育経営管理）
木塚　朝博（茨城）	深澤　浩洋（体育哲学）
佐々木玲子（神奈川）	藤井　範久（バイオメカニクス）
長ケ原　誠（兵庫）	三木ひろみ（体育科教育学）
松永　敬子（京都滋賀）	村瀬　智彦（測定評価）
來田　享子（東海）	山本　裕二（体育心理学）

会　長	会長推薦理事
副会長	会長推薦理事
副会長	会長推薦理事
副会長	会長推薦理事
常務理事	会長推薦理事
	会長推薦理事

＜監　事＞

阿江美恵子	会長推薦監事
山口　　香	

第 71 回大会以降の主管校について

2021 年　　筑波大学（決定）

2022 年　　順天堂大学

2023 年　　同志社大学

2024 年　　福岡大学

「体育学研究」投稿規程の改正について

改正作業：総会での議決事項

改正案	現行
2. 「体育学研究」（以下「本誌」という）への投稿は，筆頭著者が本学会会員に限る．ただし，「体育学研究」編集委員会（以下「本委員会」という）は，本学会の会員と非会員とを問わず論文を依頼することができる（論文の掲載費用については第21条を参照）．	2. 「体育学研究」（以下「本誌」という）への投稿は，筆頭著者が本学会会員に限る．ただし，「体育学研究」編集委員会（以下「本委員会」という）は，本学会の会員と非会員とを問わず論文を依頼することができる．（論文の掲載費用については第20条を参照）
3. 論文の種類は総説，原著論文，実践研究，事例報告，研究資料，書評，内外の研究動向，研 究上の問題提起，論評のいずれかとする．	3. 論文の種類は総説，原著論文，実践研究，事例報告，研究資料，書評，内外の研究動向，研究上の問題提起，論評のいずれかとする．投稿論文は体育学研究領域における完結した未発表のものであり，学術誌等に未掲載のもの，投稿中でないものに限る．ただし，日本体育・スポーツ・健康学会大会等における発表やその資料の内容を充実させた論文，学位論文の研究成果のうち学術誌等で未発表の内容をまとめた論文，あるいは各種研究助成金の交付を受けた研究をまとめた論文は，投稿することができる．なお，研究助成金の交付を受けた研究をまとめた論文については，助成主宰団体が学術誌等への投稿を認めていること，かつ助成金の交付を受けた研究の報告書が作成されていても査読を受けたものでないことを条件とする．
4. 論文の作成に際して，「一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 研究倫理綱領」を遵守し，著作権の侵害、剽窃・ 盗用・二重投稿等の不正行為をしてはならない ．投稿論文は体育学研究領域における完結した未発 表のものであり，学術誌等に未掲載のもの，投稿中でないものに限る．ただし，日本体育学 会大会等における発表やその資料の内容を充実させた論文，学位論文の研究成果のうち学術 誌等で未発表の内容をまとめた論文，あるいは各種研究助成金の交付を受けた研究をまとめ た論文は，投稿することができる．なお，研究助成金の交付を受けた研究をまとめた論文に ついては，助成主宰団体が学術誌等への投稿を認めていること，かつ助成金の交付を受けた 研究の報告書が作成されていても査読を受けたものでないことを条件とする． （以下1条ずつ繰り下げる）	（新設）
8. 投稿論文原稿の規定ページ数は次の通りとする．図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）を含める原稿は，第9条に基づいて，図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）を文字数に換算する．原稿分量の計算式は，投稿の手引きを参照のこと．なお，査読における修正変更により，受理後に印刷規定ページ数を超える場合には，超過掲載に要する費用は著者が負担する． 2) 原著論文，実践研究，事例報告，研究資料については，本文，注記，文献表，図表を含め25ページ以内とする． 3) 総説については，本文，注記，文献表，図表を含め30ページ以内とする． 4) 書評，内外の研究動向，研究上の問題提起，論評については，本文，注記，文献表，図表を含め7.5ページ以内とする．	7. 投稿論文原稿の規定ページ数は次の通りとする．図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）を含める原稿は，第8条に基づいて，図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）を文字数に換算する．原稿分量の計算式は，投稿の手引きを参照のこと．なお，査読における修正変更により，受理後に印刷規定ページ数を超える場合には，超過掲載に要する費用は投稿者が負担する． 2) 原著論文，実践研究，事例報告，研究資料については，本文，注記，文献表，図表を含め25頁以内とする． 3) 総説については，本文，注記，文献表，図表を含め30頁以内とする． 4) 書評，内外の研究動向，研究上の問題提起，論評については，本文，注記，文献表，図表を含め7.5頁以内とする．
9. 3) 図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）が1ページに満たない（空白がある）場合も含めて，1ページあたり全角1800字に換算する． 4) 図表やその他の資料（付録などを含む）は白黒を原則とし，カラー図表，動画，写真，その他のカラー資料（付録などを含む）の掲載など特別の費用を要した場合には，その超過分を著者が負担する．	8. 3) 図表，動画，写真，その他の資料（付録などを含む）が1ページに満たない（空白がある）場合も含めて，1ページあたり全角1800文字に換算する． 4) 図表やその他の資料（付録などを含む）は白黒を原則とし，カラー図表，動画，写真，その他のカラー資料（付録などを含む）の掲載など特別の費用を要した場合には，その超過分を投稿者が負担する．

14．論文の作成に際して，「一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会 研究倫理綱領」を遵守したうえで，本学会の総会で採択した「研究者の倫理について（覚書）」も参照し，研究対象者や被験動物の取り扱いについて十分に配慮するとともに，実際に配慮した点や，所属機関等の研究倫理委員会の承認を得ている場合にはその旨を論文中に明記する．	13．論文の作成に際して，被験者や被験動物の取り扱いについては、本学会の総会で採択した「研究者の倫理について（覚書）」を参照し，人権擁護・動物愛護の立場から十分注意するとともに，実際に配慮した点を論文中に明記する．
21．電子ジャーナルおよび冊子に掲載が承認された投稿論文の全著者が本学会会員の場合は，第8条第1項，第9条第4項を除いて，掲載に必要な費用を無料とする． 2）著者に非会員が含まれる場合は，著者が掲載に必要な経費を負担する．	20．電子ジャーナルおよび冊子に掲載が承認された投稿論文の著者が本学会会員の場合は，第7条第1項，第8条第4項を除いて，掲載に必要な費用を無料とする． 2）著者に非会員が含まれる場合は，投稿者が掲載に必要な経費を負担する．
23．冊子における論文の別刷を希望する著者は，著者校正の際に必要部数を印刷会社に連絡する．ただし，この場合の経費は著者の負担とする．	22．冊子における論文の別刷を希望する投稿者は，著者校正の際に必要部数を印刷会社に連絡する．ただし，この場合の経費は投稿者の負担とする．
（注）上記のほか，詳しくは「投稿の手引き」を参照のこと．「投稿の手引き」は日本体育・スポーツ・健康学会ウェブサイト（http://taiiku-gakkai.or.jp）に常時掲載されている．	（注）上記のほか，詳しくは「投稿の手引き」を参照のこと．「投稿の手引き」は日本体育・スポーツ・健康学会ウェブサイト（http://taiiku-gakkai.or.jp）に常時掲載されています．

		9〜12	12〜13	13〜14	14〜15	15〜16	16〜17	17〜19
1日目 9/7(火)	会場1	オープニング/総会 9:00〜10:20	本部企画シンポジウム(1) 10:30〜12:30 体育・スポーツ・健康科学を基盤とした Evidence Based Sports Policyの開発に向けて(仮)	（昼休憩 12:30〜13:30）	テーマ別研究発表　スポーツ文化(A) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　スポーツ文化(A) SDGsとスポーツとの接点を探る		交流企画　17:30〜19:00 組織委員会イベント/情報交換会など？（未定）
	会場2							
	会場3							
	会場4		本部企画シンポジウム(2) 10:30〜12:30 若手研究者に求められる体育・スポーツ・健康科学の社会的使命：「学際性」のリアルとロマン		テーマ別研究発表　学校保健体育(A) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　学校保健体育(A) 大学体育の社会的使命とその実現可能性を考える：歴史的変遷からみる大学体育の現在地		
	会場5							
	会場6							
	会場7			名誉会員懇談会	テーマ別研究発表　競技スポーツ(A) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　競技スポーツ(A) トップアスリート養成の拠点としての大学の意義と問題点		
	会場8							
	会場9							
	会場10		※各シンポジウムについては、タイトル等を記載する都合上、複数会場(複数行)をまたいで記載している ⇒実際には各１会場で対応可能（想定参加人数に応じたzoomの人数上限を要確認）		テーマ別研究発表　生涯スポーツ(A) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　生涯スポーツ(A) 共生社会と生涯スポーツは共存できるのか：スポーツのパラダイムチェンジが共存への鍵		
	会場11							
	会場12							
	会場13				テーマ別研究発表　健康福祉(A) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　健康福祉(A) ライフスタイルに応じた健康増進・体力向上の捉え方：「女」を生きることと健康・スポーツ		
	会場14							
	会場15							
2日目 9/8(水)	会場1	テーマ別研究発表　スポーツ文化(B) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　スポーツ文化(B) スポーツの理想とその暴力性：多様なスポーツ文化の醸成へ向けたスポーツ研究の自己反省	（昼休憩 12:45〜13:45）	テーマ別研究発表　スポーツ文化(C) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　スポーツ文化(C) スポーツ文化の浸透戦略：文化の保存・流通の批判的検討から		
	会場2							
	会場3							
	会場4	テーマ別研究発表　学校保健体育(B) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　学校保健体育(B) より良質な保健体育授業の具体像を考える：コロナ禍の保健体育から、あらためてその意義と価値を整理する		テーマ別研究発表　学校保健体育(C) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　学校保健体育(C) 科学的エビデンスからみた保健体育のカリキュラムと学習指導：学習指導要領の内容と保健体育授業の実状との乖離		
	会場5							
	会場6							
	会場7	テーマ別研究発表　競技スポーツ(B) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　競技スポーツ(B) パラ競技スポーツにおけるコーチ養成の現状と今後の方向性		テーマ別研究発表　競技スポーツ(C) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　競技スポーツ(C) ハイパフォーマンススポーツ（トップレベルの競技スポーツ）におけるフィジカルトレーニングの新たな潮流		
	会場8							
	会場9							
	会場10	テーマ別研究発表　生涯スポーツ(B) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　生涯スポーツ(B) Well-Beingの実現にむけて：生涯スポーツのこれからと社会・産業、そして人		テーマ別研究発表　生涯スポーツ(C) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　生涯スポーツ(C) 国民の運動・スポーツ参加の現状および問題点：国民のスポーツ権を保障するための施策立案に向けて		
	会場11							
	会場12							
	会場13	テーマ別研究発表　健康福祉(B) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　健康福祉(B) 認知機能改善のための身体活動の在り方（※1h40min）	理事会(体育科教育学)	テーマ別研究発表　健康福祉(C) 口頭発表　12〜18演題 3会場×(6題×15分/4題×20分)	テーマ別シンポジウム　健康福祉(C) テレワーク時代における心身の健康の保持増進の工夫と提言（新しい生活様式と健康の保持・増進）		
	会場14							
	会場15			地域協力学会連絡会議				

		9〜12	12〜13	13〜14	14〜15	15〜16	16〜17	17〜18	
3日目 9/9(木)	会場1	専門領域別研究発表（体育哲学）口頭発表/1演題30分(発表20+質疑10)	（昼休憩 12:00〜13:00）	浅田学術奨励賞受賞記念演題	専門領域別研究発表（体育哲学）口頭発表		総会(〜16:50)	人数：40名	体育哲学
	会場2	専門領域別研究発表（体育史）口頭発表/1演題25分(発表15+質疑10)		専門領域別研究発表（体育史）口頭発表				人数：120名	体育史
	会場3	専門領域別研究発表（体育社会学）口頭発表/1演題25分(発表15+質疑10)	総会	専門領域別研究発表（体育社会学）口頭発表				人数：40名	体育社会学
	会場4	専門領域別キーノート（体育心理学）60分×2演題	総会(11:10〜12:10)	専門領域別研究発表（体育心理学）口頭発表/1演題20分(発表15+質疑5)				人数：300名	体育心理学
	会場5	（※運動生理学：口頭発表なし）							運動生理学
	会場6	専門領域別研究発表（バイオメカニクス）口頭発表	講演1演題　理事会	専門領域別研究発表（バイオメカニクス）口頭発表/1演題13分(発表10+質疑3)				人数：100名	バイオメカニクス
	会場7	専門領域別研究発表（体育経営管理）口頭発表/1演題20分(発表15+質疑5)		専門領域別研究発表（体育経営管理）口頭発表				人数：20名	体育経営管理
	会場8	（※発育発達：口頭発表なし）		キーノート1演題	理事会			人数：100名	発育発達
	会場9	専門領域別研究発表（測定評価）口頭発表/1演題12分(発表8+質疑4)/20-25演題	（理事会・総会開催予定）	専門領域別研究発表（測定評価）口頭発表				人数：？名	測定評価
	会場10	（※体育方法：口頭発表なし）	理事会					人数：40名	体育方法
	会場11	専門領域別研究発表（保健）口頭発表/1演題12分(発表8+質疑4)	総会	専門領域別研究発表（保健）口頭発表				人数：50名	保健
	会場12	専門領域別研究発表（体育科教育学）口頭発表/1演題15分(発表10+質疑5)	総会	専門領域別研究発表（体育科教育学）口頭発表				人数：50名	体育科教育学
	会場13	専門領域別研究発表（スポーツ人類学）口頭発表/1演題20分(発表15+質疑5)	理事会	専門領域別研究発表（スポーツ人類学）口頭発表		キーノート1演題	総会	人数：50名	スポーツ人類学
	会場14	評議員会(8:30-9:20)　専門領域別研究発表（ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞ）口頭発表/1演題15分(発表12+質疑3)	総会		専門領域別研究発表（ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞ・ｽﾎﾟｰﾂ科学）ポスター			人数：50名	ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞ・ｽﾎﾟｰﾂ科学
	会場15	（※介護予防・健康づくり：口頭発表なし）			※10題を超えた場合のみポスター発表を実施			専門領域連絡会議	介護予防・健康づくり

（↑黄色）ポスター発表を実施する専門領域 Confitチャット使用

・【全体の概要】zoomを使用して15会場を設定（演者・参加者はConfitシステムからzoomに入場）。1・2日目にテーマ別研究発表（口頭）とテーマ別シンポ、3日目に専門領域別研究発表（口頭・ポスター）を配置
・【1・2日目】テーマ別研究発表（口頭発表）は、各応用研究部会で36演題(20分の場合)〜54演題(15分の場合)、全体で180〜270演題を配置可能。各テーマの演題数の多少により会場配置を調整
・【1・2日目】テーマ別シンポジウム／テーマ別研究発表は収録し、参加者がオンデマンドで一定期間閲覧可能とする
・【3日目】11の専門領域が口頭発表を希望（青色）。口頭演題数が多い専門領域は予備会場を使用予定。専門領域発表は収録しない
・【3日目】10の専門領域がポスター発表を希望（黄色）。ポスター発表での質疑応答はConfitシステムのチャットを使用し、zoomでのやり取りは行わない

■第 71 回大会テーマ別シンポジウム一覧

スポーツ文化研究部会シンポジウム

（A）SDGs とスポーツとの接点を探る

（B）スポーツの理想とその暴力性：
多様なスポーツ文化の醸成へ向けたスポーツ研究の自己反省

（C）スポーツ文化の浸透戦略（1）：文化の保存・流通の批判的検討から

学校保健体育研究部会シンポジウム

（A）大学体育の社会的使命とその実現可能性を考える：
歴史的変遷からみる大学体育の現在地

（B）より良質な保健体育授業の具体像を考える：
コロナ禍の保健体育から、あらためてその意義と価値を整理する

（C）科学的エビデンスからみた保健体育のカリキュラムと学習指導：
学習指導要領の内容と保健体育授業の実状との乖離

競技スポーツ研究部会シンポジウム

（A）トップアスリート養成の拠点としての大学の意義と問題点

（B）パラ競技スポーツにおけるコーチ養成の現状と今後の方向性

（C）ハイパフォーマンススポーツ（トップレベルの競技スポーツ）における
フィジカルトレーニングの新たな潮流

生涯スポーツ研究部会シンポジウム

（A）共生社会と生涯スポーツは共存できるのか：
スポーツのパラダイムチェンジが共存への鍵

（B）Well-Being の実現にむけて：生涯スポーツのこれからと社会・産業、そして人

（C）国民の運動・スポーツ参加の現状および問題点：
国民のスポーツ権を保障するための施策立案に向けて

健康福祉研究部会シンポジウム

（A）ライフスタイルに応じた健康増進・体力向上の捉え方：
「女」を生きることと健康・スポーツ

（B）認知機能改善のための身体活動の在り方

（C）テレワーク時代における心身の健康の保持増進の工夫と提言
（新しい生活様式と健康の保持・増進）

■第71回大会　参加登録数

2021.6.6現在

	会員	非会員	学生	名誉会員	合計
早期参加登録	782	44	235	6	1,067
事前参加登録	127	25	21	4	177
合計	909	69	256	10	1,244

■第71回大会　研究発表数一覧

テーマ別研究発表	区分	口頭発表	ポスター発表	合計
スポーツ文化研究部会	課題A	8	0	8
	課題B	11	0	11
	課題C	11	0	11
学校保健体育研究部会	課題A	10	0	10
	課題B	11	0	11
	課題C	27	0	27
競技スポーツ研究部会	課題A	12	0	12
	課題B	7	0	7
	課題C	26	0	26
生涯スポーツ研究部会	課題A	7	0	7
	課題B	3	0	3
	課題C	7	0	7
健康福祉研究部会	課題A	4	0	4
	課題B	9	0	9
	課題C	16	0	16
合計		169	0	169

専門領域別研究発表	口頭発表	ポスター発表	合計
体育哲学	1	0	1
体育史	6	0	6
体育社会学	11	0	11
体育心理学	9	43	52
バイオメカニクス	9	21	30
体育経営管理	4	4	8
発育発達	0	13	13
測定評価	12	17	29
体育方法	0	64	64
保健	6	0	6
体育科教育学	14	14	28
スポーツ人類学	5	1	6
アダプテッド・スポーツ科学	4	0	4
合計	81	177	258

2021 年 6 月 12 日

日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会準備状況

●期間　2022 年 8 月 31 日（水），9 月 1 日（木），9 月 2 日（金）
●会場　順天堂大学さくらキャンパス（千葉県印西市平賀学園台 1－1）
●主管　順天堂大学
●開催方法　オンサイト開催を前提に準備，一部企画ライブ映像配信検討

●施設
メイン会場 3 号館　https://www.youtube.com/watch?v=MMKsG-hIuwA
大規模教室：3 号館（301 教室，カンファレンスホール），第 2 体育館
中規模教室：2 号館（11 番教室，12 番教室，21 番教室，22 番教室，45 番教室，46 番教室，4Ｅ教室），3 号館（401 教室，402 教室）
ポスター，企業展示会場等：第 1 体育館（バスケ館，バレー館，コスモホール，第 2 コスモホール）

●大会組織委員会
大会名誉会長　順天堂大学長
顧問　鈴木大地
大会会長　日本体育・スポーツ・健康学会会長
組織委員長　内藤久士
副委員長　吉村雅文
事務局長　長登　健
副事務局長　鈴木宏哉
監事　青木和浩
運営委員：スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科教職員，スポーツ健康医科学研究所スタッフ，学会事務局スタッフほか

●大会実行委員会（当日大会運営スタッフ）
組織委員会委員兼務
スポーツ健康科学部学生・大学院スポーツ健康科学研究科院生
学外学会員ほか

以上

2021 年度　日本体育・スポーツ・健康学会諸会議日程

2021 年 4 月 17 日（土）　第 13 回理事会

2021 年 5 月 22 日（土）　第 14 回理事会

2021 年 6 月 12 日（土）　定時社員総会
第 1 回理事会

2021 年 7 月 10 日（土）　第 2 回理事会

2021 年 9 月 6 日（月）　第 3 回理事会（学会大会前日）

2021 年 9 月 7 日（火）　臨時社員総会（学会大会初日）

2021 年 9 月 8 日（水）　地域協力学会連絡会議（学会大会 2 日目）

2021 年 9 月 9 日（木）　専門領域連絡会議（学会大会 3 日目）

2021 年 10 月 9 日（土）　第 4 回理事会

2021 年 12 月 18 日（土）　第 5 回理事会

2022 年 3 月 5 日（土）　第 6 回理事会

＊第 71 回大会（筑波大学）：2021 年 9 月 7 日（火）～9 日（木）